

Design シンポジウム 2014 講演募集

会期：2014年11月11日（火）～13日（木）

会場：東京大学 生産技術研究所 総合研究実験棟（An棟） コンベンションホール他
（東京都目黒区駒場4-6-1）

共催：日本設計工学会（幹事学会）、日本機械学会、精密工学会、日本建築学会、日本デザイン学会、人工知能学会

協賛：The Design Society, 横断型基幹科学技術研究団体連合, International Association of Societies of Design Research（予定）

趣旨：

現在、人々の生活、社会、産業、環境を取り巻く問題は高度化、複合化しており、縦割りの専門分野ごとのアプローチでは対応が困難となっています。そのため、複数の専門分野が横断的に連携し、問題の分析（analysis）に加えて、問題を解決する新たなモノやコトの総合（synthesis）を行なう、設計、デザインの研究、教育が、非常に重要となっています。

以上の背景から、日本機械学会、精密工学会、日本設計工学会、日本建築学会、日本デザイン学会の5学会は、「設計」や「デザイン」を包含する上位概念としての”design”を対象としたシンポジウムを2004年7月に開催、その後、人工知能学会を加えた6学会共催による隔年のDesignシンポジウムを、多様な参加者による活発な議論の場として継続的に開催してきました。この度、10周年を迎えるDesignシンポジウム2014を、”design”に関して分野横断的、学術的、実践的に取り組む場として、次の通り企画いたしました。

- ・一般講演
- ・分野のキーパーソンによる特別講演
- ・Designシンポジウムのこれまでとこれからを議論する10周年パネルディスカッション
- ・Dyson Engineering Lecture & Workshop (DesignシンポジウムVersion)：Designシンポジウムの特長を活かし、機械系、建築系、デザイン系、情報系の分野を横断する学生チームが、ダイソン英国本社のエンジニアの指導の下、議論、創案、試作、発表を行い、デザインのプロセスを体験する、ジェームズダイソン財団の協力によるワークショップ

様々な分野の研究者、設計者、デザイナー、技術者、学生など、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

一般講演募集：

発表形式は口頭発表もしくはポスター発表を基本としますが、申込件数等により発表形式のご希望にそえない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、一般講演の採否、プログラム編成はDesignシンポジウム2014運営委員会にご一任下さい。

一般講演申込方法：

申込は電子メールで受け付けます。Subject名を「Designシンポジウム2014一般講演申込」とし、(i) 題目、(ii) 登壇者（*印）・連名者の氏名、共催学会員の方は学会名・会員資格、(iii) 所属機関名・所在地、(iv) 連絡先氏名・住所・電話番号・FAX番号・電子メールアドレス、(v) 講演内容に該当する、表1の(a)～(f)中の1～2個、表2の(1)～(40)中の3個程度を、それぞれ記載、(vi) 希望する発表形式（口頭発表、ポスター発表）、を記載した電子メールに、A4判で2頁以上（図表等含む）の発表概要をPDFファイルにて添付して下さい。

表1 一般講演の枠組み

項目	説明
(a) Design 理論	Design 理論は、Design 行為におけるさまざまな現象を説明可能な法則やモデルである。Design 理論は、Design 上の目的を持たず、純粋に Design 行為に関わる。例えば、数式を用いて Design 行為を表現した一般設計学に関する研究などがこれにあたる。しかし、例えば、最適デザインは、デザイン目標を最良にするという目的を持つため、これにあたらぬ。
(b) Design 方法論	Design 方法論は、Design 方法の特徴分析やそれに基づく Design 方法の選択指針の構築など、複数の Design 方法の関係性に着目し、それらを体系的に扱うものである。例えば、デザイン問題の特徴に基づく最適デザイン法の使い分けに関する研究などがこれにあたる。
(c) Design 方法	Design 方法は、Design 上の目的を達成するためのさまざまな方法のことである。例えば、デザインに用いられる各種の発想法や分析法、あるいはパターンランゲージのように、Design プロセスに注目する方法などがこれにあたる。
(d) Design 実践	Design 実務は、プロダクトデザイン、建築デザイン、工学設計など、多様なデザイン分野における具体的な実践である。例えば、製品開発事例やデザイン作品に関する記録や報告などがこれにあたる。
(e) Design 知識	Design 知識は、Design 行為に用いられる（関与する）知識である。例えば、Design 実務に関する知識のデータベースや、それらのマネジメント・技術伝承に関する知識などがこれにあたる。
(f) その他	(上述した) Design 行為に関与しないさまざまな知識である。例えば、Design 教育、Design 史、Design と他分野・他領域（社会・政策・文化・哲学など）の関わりに関する知識などがこれにあたる。

表2 一般講演のキーワード

(1) 設計工学・製品開発事例	(21) ライフサイクルデザイン
(2) システム工学・システムデザイン	(22) セキュリティデザイン
(3) 感性工学・感性デザイン	(23) ユニバーサルデザイン・エルゴノミクスデザイン
(4) サービス工学・サービスデザイン	(24) ユーザビリティ
(5) 設計科学（デザインサイエンス）	(25) 複合領域最適設計・ロバストデザイン
(6) 認知科学・デザイン心理学	(26) 最適デザイン
(7) 期待学	(27) 創発デザイン
(8) 記号論	(28) メタデザイン
(9) プロダクトデザイン・マテリアルデザイン	(29) タイムアクセスデザイン
(10) ファッションデザイン	(30) 仕掛けデザイン
(11) グラフィックデザイン	(31) エコデザイン
(12) 情報デザイン	(32) Design 思考
(13) メディアデザイン	(33) 発想・創造支援・イノベーション
(14) コミュニケーションデザイン	(34) 情報管理・ナレッジマネジメント
(15) コラボレーション・インタラクティブデザイン	(35) Design プロセス
(16) ソーシャルデザイン・コミュニティデザイン	(36) 設計場・設計環境・設計組織・設計主体
(17) ワークプレイスデザイン	(37) DfX 方法論・DfX ツール
(18) インターフェースデザイン	(38) CAD/CAM/CAE・デジタルエンジニアリング
(19) 空間デザイン	(39) 学びと教育
(20) 建築・都市・ランドスケープデザイン	(40) Design と社会、政策、文化、歴史、哲学、価値・評価

ワークショップ参加申込方法：

学生を対象とし、参加は無料です。申込は電子メールで受け付けます。Subject 名を「Design シンポジウム 2014 ワークショップ参加申込」とし、(i) 参加希望者氏名（複数連名可）、所属（学校、専攻・学科）、専門分野、学年、(ii) 代表連絡者氏名・所属・住所・電話番号・FAX 番号・電子メールアドレス、(iii) 各参加希望者について、Design シンポジウム 2014 一般講演登壇者・連名者、共催学会員などに該当する場合は、その情報、を記載した電子メールをお送りください。

一般講演申込や会員資格をワークショップ参加条件とはしませんが、希望者が定員(50名)を超過した場合は、一般講演登壇者・連名者、共催学会員を優先する場合がありますので、ご了承ください。連名の参加申込の場合も、採否は個人ごとに決定します。

申込宛先：ds2014@mail.design.t.u-tokyo.ac.jp

申込期限：2014年6月6日（金）

採否通知：

Design シンポジウム 2014 運営委員会にて申込内容を審査のうえ、2014年7月18日頃に通知いたします。

最終原稿：

採択された一般講演は、Design シンポジウム 2014 運営委員会の指定した書式に従い、原則として A4 判 4 枚（ただし最大 8 枚まで可能）の最終原稿を PDF でご提出いただきます。

最終原稿提出期限：2014年9月12日（金）

参加登録費：

一般	共催学会員		10,000 円	論文集 1 部含む
	非会員		13,000 円	
学生	登壇者	共催学会員	5,000 円	
		非会員	13,000 円	
	聴講のみ		無料	論文集なし

なお、懇親会を開催する予定です。懇親会参加費は、参加登録者（聴講のみの学生は除く）は無料の予定です。

Web ページ：

シンポジウムの詳細は、日本設計工学会ホームページ (<http://www.jsde.or.jp/>) 上に掲載しますのでご覧下さい。

問合せ先：

村上 存 (Design シンポジウム 2014 運営委員会委員長)

東京大学 大学院工学系研究科 機械工学専攻

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

E-mail: ds2014@mail.design.t.u-tokyo.ac.jp

Tel: 03-5841-6327 Fax: 03-3818-0835